

「Z世代のあなたたちへ」

校長 村井 浩昭

2015年度(平成27年度)、私は当時の勤務校で進路課長をしており、そのときの『進路の手引』に寄稿した文章の締めくくりに次のように書いてある。

「とりわけ驚いたニュースが、羽衣チョークの自主廃業である。Hagoromoのロゴが入ったチョークは全教員の必需品であり、我々の教育活動を支えてきた。最近では、ホワイトボードや電子黒板を導入する高校も増え、チョークの需要が減っていると聞く。大学入試センター試験の廃止とともにまだまだいろいろなことが変化する予感がする。」

2015年3月末に羽衣チョークの販売が中止となった。なめらかでやわらかいタッチで多くの教師に支持されたチョークがなくなることは、一つの時代が変わることを象徴していた。当時視察に行かしていただいた岡山県の県立高校には、全クラスホワイトボード仕様で、電子黒板が備え付けてあった。それから7年、愛媛県の県立高校にもホワイトボードと電子黒板が整備され、だんだんとチョークを使う場面が減っている。昨年度からは、一人1台端末が貸与され、ICT環境も急速に整っている。ちなみに昨年度スタートの時点で一人1台端末が整備されたのは全国で12の自治体のみで、愛媛県は導入先進県であった。吉田高校は、それよりも一年早くタブレットを独自に導入したので、さらに先進的な取組を行ってきたと言える。

この数年間で耳にしたICT関連の新しい用語がたくさんある。「AI(人工知能)」や「ビッグデータ」に加え「IoT(Internet of Things)」なる技術が普及してきた。これは、モノのインターネットと言われ、住宅や建物、車、家電製品、電子機器などが、ネットワークを通じてサーバーやクラウドサービスに接続され、相互に情報交換をする仕組みのことである。例えばエアコンの遠隔操作や車の自動運転などがある。次に「5G」。簡単に言うと通信技術の進化のことで、高速で大容量の通信ができる。「IoT」は、「5G」の普及で恩恵を受けると言われている。「Society5.0」も浸透してきた。これは、狩猟社会(1.0)、農耕社会(2.0)、工業社会(3.0)、情報社会(4.0)として、次に続く社会を(5.0)と表している。AI、ビッグデータ、IoTや5Gなどが融合された超スマート社会のことである。最近「Web3.0」という用語を知った。これは、ホームページを閲覧するだけの時代(1.0)、ツイッターやインスタグラム等SNSでのやり取りが主流の時代(2.0)に続くので(3.0)という。GAFAM(グーグルやアマゾン等)のプラットフォームに支配されていた(2.0)と比較して、ブロックチェーンという技術を使い、個人が相手と直接つながるといって異なっている。こういった技術革新は社会への影響が大きく、ここ数年の状況の変化を鑑みると、これから先、もっと大きな技術革新が起こる可能性が高く、必要とされる仕事も劇的に変化することを考えなければならない。

このような時代を生き抜いていくために、吉田高校では、今年度から、育みたい資質・能力として、思考力・創造力・社会性・主体性・規範意識・人権意識を掲げた。「育む」ということは、その資質・能力に広がりを持たせるということである。例えば「思考力」と言っても、仮説を立て推論によって答えを導き出す論理的思考力や複雑な課題に対処するための複眼的思考力など様々であり、学校生活のあらゆる場面で、色々な「思考力」の涵養を図っている。今の生徒世代は「Z世代」と称され(ちなみに私たちの世代はX世代という)、生まれた時からデジタル機器やインターネットが普及しており、真のデジタルネイティブ世代と言われている。SNSも生まれた頃からあり、使いこなすことに長けている。ただ、そういった特徴を何かに役立てなければ社会貢献という点で価値のないものになってしまう。だから、3年間という時間をかけて経験を積み、学び得た力を将来どのように広げていくかを考え、未来につなげていくのである。それこそが、進路探究である。

『進路の手引』には、進学や就職に関しての情報はもちろん、先生方や先輩たちのアドバイスもあり、生きた声が届いてくる。将来何をやるだけでなく、今身に付けようとしている力をどのように生かしていきたいのかを考えるための参考書にしてほしい。

この冊子は、皆さんの将来への第一歩を後押ししてくれるはずである。